



迎春

シャモニー針峰群<フランス>

倉田富士雄



No.403

編集発行人 針谷宏一
**治安維持法犠牲者
 国家賠償要求同盟**

〒113-0034 東京都
 文京区湯島2-4-4
 平和と労働センター・全労連会館

電話 03(5842)6461
 FAX 03(5842)6462
<http://www17.plala.or.jp/chian>
 定価 50円

主な記事

- 新年のあいさつ
- 新春随想
- 顕彰碑 / 佐野英彦
- 時の焦点 / 思いやり予算
- 抵抗の群像 / 藤田晃三郎
- 映画 / 「母べえ」 治安維持法が映像に
- 書棚 / 不破哲三『憲法対決の全体像』

7 7 6 5 5 4 2

いのち

碓田のぼる

信濃の国に帰れば思う貧しけれど母は命強く
 われを生みしか

ちち・ははの齡もすでに越え生きてなお夢に
 みる幼年期あり

老いゆけば人は阿房あほうになりゆくか効き目なき
 風邪薬を朝くれば飲む

山に入る初冬の道に肅然とカラマツの葉は黄
 色の幕なしてふる

冠雪の檜は秀先ほをきらめかせ人よせがたく冬
 に入りゆく

新年明けましておめでとーございませう



中央本部会長代行 神戸 照

同盟が治安維持法犠牲者の国家賠償要求実現をめざし運動をはじめから四十年になりました。この間、会員の皆さんの奮闘、団体、多くの皆さんのご協力で、累計七五〇万を越す署名と三十四回に及ぶ国会請願活動をしてきました。

会員の皆さんのご奮闘に敬意を表するとともにご協力くださった団体、多くの皆さんに心からお礼申し上げます。ありがとうございます。

参議院選挙で自公政権を歴史的敗北に追い込んだ有権者・国民は、新しい政治を求め要求実現へ、攻勢的に運動を進めています。一方追いつめられた財界・「靖国派」は選挙での国民の審判を恐れ、自民、民主の「大連立」のごまかしで危機を乗りきろうとしています。

同盟は「九条の会」をはじめ広く大衆運動に積極的に参加するなかで、署名を推進し、「再び侵略戦争と暗黒政治を許さない」の世論を広めています。

私たちは創立四〇周年にふさわしく五〇万の署名と会員一万六千の組織確立をめざし奮闘する決意です。皆さんのご支援、ご協力をお願いして新年のご挨拶とします。

中央本部署員・名誉会長・顧問

榎本 尚

会長代行

宮田 汎

秋田 藤田 実

大阪 桑山好司

神戸 照

島津 昭

山形 国井造丞

大阪 木寺鶴夫

北海道 外尾静子

新しい年こそ嘘偽りのない年にしたい。あまりにも偽りが横行し、国民の信用を裏切った。それは老舗ほど重く、政界では政権与党はずでに国民の信用を失っている。

いま頭を低くしてとぼけ、体かわしたつもりでもアメリカへの限らない従属、大企業への奉仕は変わらず、改憲への道を推し進めている。「大連立」などもっている。まさにわが同盟の出番である。

岩手県 牛山 靖夫

全国大会の後、二つの団体から治安維持法について話をしてほしいとの要請が続きました。

憲法9条には治安維持法の犠牲になった先覚者の志がぎざまされていきます。いまこそ「ふたたび戦争と暗黒政治を許すな」の声をさらに大きく広げるときです。

同盟創立四〇周年の年を迎え、新たな決意で前進しましょう

埼玉県 矢島 恒夫

十二月八日、開戦記念日の宣伝

は、大宮駅で県本部の幟旗を立て、署名とビラ配布、その後募金活動など、大忙しの年の暮れでした。

さて、同盟創立四〇周年の年明け、大連立の危険な動きや新テロ特措法、海外派兵恒久法の策動など、県本部は「再び戦争と暗黒政治を許さない」闘いを前進させるため頑張ります。

三重県 多喜正男

福田自・公政権は、参院選の敗北から真摯に学ばず執拗に、だがいつそう巧妙に憲法の改悪を進めながら、当面アメリカの言いなりに米国の侵略戦争に自衛隊を、再び派遣しようとしています。

当県では、遅れている組織拡大に取り組みつつ、来たる衆院選で、真の反戦勢力の勝利のため全力を尽くしたいと、決意しています。

京都府 岡本 康

戦後、平和と民主主義をもとめた方々が獄中であって、敢然と反戦の旗を掲げ続けておられたことを知り、二度と戦争に加担しないことを、私たちは決意し、今日に

副会長	近江谷昭二郎	牛山靖夫	福島	加藤 起兵	庫 築谷時雄
増本一彦	佐藤 一	米山順夫	栃木	小貫 暁奈良	細野徳弘
宮田 勝	北村直吉	久保田俊雄	群馬	半田 正和	歌山中平喜祥
溝渕政子	久保田俊雄	塩田一行	埼玉	加納幸子	和歌山 森下澄子
柳河瀬精	水野晃治	塩田一行	千葉	中山 功鳥	取草刈 司
富矢信男	塩田一行	井上敏江	東京	川口 弘岡	山中元輝夫
角銅立身	井上敏江	岡本 康	東京	小野塚一雄	広 島 片桐隆三
矢島恒夫	岡本 康	引地延子	東京	井上幸男	徳 島 大栗丸人
針谷宏一	林 洋武	勝部庸一	神奈川	小原 靖香	川 宮崎文男
事務局次長	久保文彦	中川悦良	神奈川	蓮見孝子	高 知 柳原 知
小池荘市	中川悦良	宇野美代子	山梨	小島達司	長 崎 松田雅武
田中幹夫	久野精司	橋本幸夫	長野	高取国勝	熊 本 梶原定義
常任理事	上野隆司	吉田一夫	新潟	遠山茂治	大 分 遠入建夫
斉藤久枝	吉田忠文	久野精司	富山	小林與蔵	宮 崎 天水貞照
山崎 元	佐藤滋朗	北口吉次	石川	小森 修冲	縄 上原清治
松井久雄	三 重 加藤昌行	片桐義之	福井	吉田一夫	桑原英武
藤本増美	滋 賀 西田 精	松永和夫	岐阜	松永和夫	松崎濱子
四津谷伸子	京 都 三原 哲	柴垣鎌吉	静岡	柴垣鎌吉	田熊真澄
小口 巽	近 藤 一 雄	田熊真澄	愛知	田熊真澄	小林初江
杉野太郎	北 海 道 横山博子	都留忠久	三重	加藤昌行	小林初江
植田泰治	青 森 高杉さと	松田岩男	滋賀	西田 精	都留忠久
伊藤 俊	宮 城 根本京子	柴田雅子	京都	三原 哲	近藤一雄
外尾静子			大阪	島本高男	松田岩男

至っております。

日本の歴史に、外国軍隊が、国土を占領し続けたことはありません。戦後六三年も米軍は、日本に

居つづけ、自・公政権は国税を米

軍にくれてやるばかりか、イラク派兵をも固執しつづけています。私達も、革新勢力の一翼をにない、

今年も粘り強く、平和のために、国賠同盟の旗を掲げて、前進するよう頑張る所存です。

石川県 北口 吉治

参議院選挙後の情勢は、自民・公明政権の腐敗墮落が次から次へと起き事態は深刻です。自民・民主はアメリカべつたりの連立構想、自衛隊の海外派兵のできる恒久法を打ち出している内容は極めて重大です。

いつ総選挙が行われても不思議でない情勢の中、同盟の四〇周年は署名目標達成と国賠同盟員拡大で光り輝く年にしたい決意です。

島根県 寺田 哲郎

国民が政治を動かす、自公政権に終止符を打つ年。「同盟」が攻勢的に打って出る情勢の到来です。昨年署名目標をやりとげ、先駆者の遺作復刊も成功させ、同盟建設でも前進方向を切り開きました。

この教訓を生かし、今年こそこの決意で、「戦争と暗黒政治を許さぬ」世論と運動を広げ、総選挙勝利のため奮闘したいと思ひます。

徳島県 大栗 丸人

徳島の同盟は、この数年、署名目標の未達成、会員数の暫減、役員の大幅欠員などが恒常的で県総会を開く余裕もないという悪循環が続いていましたが、先頃の四国ブロック会議を経て、昨年十一月二十日に臨時拡大役員会を開き、いかに機能を回復させるかが論議しました。

その結果、原点にたちかえり「まず、総会を開くこと」とし、三月十五日を再建総会の日と決め、ささやかに初歩的な目標に向かって一歩を踏みだしたところです。

宮崎県 日高 脩

県選出の衆参議員のうち三名が、アメリカの新聞に掲載された「従軍慰安婦」の存在を否定する広告に、名を連ねていた宮崎県です。こうした靖国派の策動をはねかえし「ふたたび戦争と暗黒政治を許さない」――治安維持法国賠同盟

の活動を、新しく切り開かれた政治革新の胎動に呼応して、積極的に推進していきたいと決意しています。

新 春 随 想



毎年の正月三日、福岡市の箱崎宮で玉取祭(玉せせり)が行われます。揮毫の男衆たちが直径二〇センチほどの木製の玉を奪い合い最後に取った人が奉納する行事です。

憲法をめぐるとたかきも、平和・民主主義・人権と書かれた玉を取り合うようなものだと、この間の情勢から思い知らされています。

参院選で示された改憲反対・構造改革ノ一の国民の声は、確実に政治を動かし、

憲法理念を実現させる年に

小澤隆一

「不屈」の言葉をかみしめて迎える年の始まりです。(憲法研究者)

テロ特措法の期限切れ廃止と自衛艦のインド洋からの帰還を勝ち取りました。それに危機感をつのらせた者たちは、大連立政権、テロ新法、恒久派兵法の制定を画策しました。

葛飾ビラ配布弾圧事件では、昨年十二月十一日、東区裁判所が、ほとんどまともな心理なしに、一番の無罪判決を破棄して有罪判決を下しました。弁護団は直ちに最高裁に上告しました。

この「玉」を決して彼らに渡してはならない。



私は正月元旦生まれなので満九十六歳になります。

戦前の昭和五(一九三〇)年と昭和八年の二回、地下活動中に検挙され、治安維持法違反で懲役二年と三年の判決により、合計五年大阪刑務所で服役。その時、警察の留置場で拷問や長期拘禁を受けましたが、それが代用監獄だとは知りませんでした。

一九八二年、大阪で国賠同盟を創設した時に中曽根内閣が拘禁二法案を国会に上程し、それが代用監獄を恒久化するも

代用監獄のこと

桑原英武

のとわかつて、その廃止運動を提唱し、同年年末には『代用監獄の研究』としてまとめ、同盟大阪支部でパンフレットを発行しました。中央の石黒事務局長や青柳盛雄会長が賛同されて、本部発行となりました。しかし、廃止させるにいたらず、運動も沈静化して今日に至っています。一九〇八年に制定され、百年経った今も代用監獄制度は生きながらえています。現在、世界で殆どみられないこの制度が、日本で廃止されるには民主連合政府の成立を待たねばならないのでしょうか。(同盟中央本部名誉会長)



明けましておめでとうございます。昨年、父、瀬長亀次郎の生誕百年にあたり、記念事業が取り組まれた。十一月に那覇市で開催された「写真・資料展」には、六日間で三千二百名が来場、感動的な話や対面もあり、「他の市町村でも移動展をしてほしい」等の要望とともに、さっそく日程も入りつつある。この行事は、沖縄県内の全マスコミに取り上げられ、QABテレビ(テレビ

「カメジロー」展に3000人余

内村千尋

朝日系)は会場から夕方のニュースで生放送をした。

この時期に生誕百年を迎えた「カメジロー」がこれだけの期待をされるのはなぜなのか。それはいまだに解決されない基礎問題に加え、教科書検定問題で、県民の競争体験をねじまげる文科省等のひどいやりかたに県民十一万六千人が声をあげた、それはまさに「カメジロー」が叫びつづけてきた「利己心をすてて団結せよ」のメッセージが今に生きているからだと思う。県民の闘いに誇りを持ち、今年も頑張りたい。(同盟沖縄県本部)

顕彰碑 探訪

度重なる検挙にも屈せず

佐野英彦

佐野英彦は、一九〇六年、東京府豊多摩郡千駄ヶ谷町（現・渋谷区代々木）に生まれ、二〇〇一年四月二日、九十四歳で八王子市で逝去されました。

佐野英彦は、東京商科大学（現一橋大学）総長佐野善作氏の次男として生まれ、上智大学一年の時より、社会科学研究会の活動に参加し、三・一五事件直後の二八年四月、校内で検挙されました。

上智大学を中退し、全協・関東

出版労組本部書記、書記長、委員長として活躍されました。

日本出版労組委員長、全協中央委員として活躍し、三〇年十月治安維持法違反で検挙され、懲役二年執行猶予三年の刑で豊多摩刑務所に収監されました。当時『蟹工船』の不敬罪で小林多喜二も別の独房に捕らえられていました。

通算して七回も検挙投獄されましたが、不屈に闘いつづけました。

戦後は、全農労組関信支部委員長、八王子民主商工会長、東商連副会長、八王子日本共産党後援会長、八王子革新懇代表世話人などをつとめ精力的に平和・民主的運動に取り組んで来られました。

治安維持法同盟の創立に参加し都本部常任理事をつとめ、九三年三月八王子支部の結成に特に尽力され、市内大谷町、富士見台霊園にある市川正一の墓前祭開催を提唱し、恒例行事として実施されています。

（倉田勝 都本部会長）



敗戦後半世紀を超えて首都横田に居据わる外国軍事基地。そして「思いやり予算」。戦後史上もつとも異常な対米従属の象徴です。

「思いやり予算」は三十年前の一九七八年から始まり、定着をはかって、九一年につくられ以後定期的な特別協定は、ことし三月で期限切れとなります。

不正義なベトナム侵略戦争の挙句財政困難におちいった米軍を支えようと、当時防衛庁長官の金丸信の采配

時の焦点

ではじまり、国民の目を眩ますために「思いやり予算」と名付けられました。日米安保条約や地位協定で決められた以外の本来日本側は不必要な経費負担

思いやり予算

で「はじめチヨロチヨロ、あとパッパ…」のやり方で、年間六十二億円から始まり九〇年代には二千七百億円とうなぎのぼり、三十数年間に総額五兆円を超えました。現在の在日米軍駐留経費は、二〇〇七年度五五三四億円。駐留米兵三万五千人として、米兵一人当たり一千六百万円、国民の血税が負担

させられています。そのうちの四〇%が「思いやり予算」。年を追って屈辱的に拡大されたため、現在は基地で働く日本人労働者の賃金や手当てまで負担させられ、国民の

声に押された日本側の総額削減要求に対して、米軍側は日本人労働者の賃金問題には無関心で、逆に米兵の光熱水費の増額を要求する始末。特別協定期限切れ

を契機に「基地撤去、米軍撤退」を展望しながら、当面「思いやり予算全廃」の自主

独立外交を展開すべきです。一方、第二のそして巨大な「思いやり予算」が国民を直撃してきています。「米軍再編」に伴う経費の全額負担が

それで、三兆円を超すといわれます。遠く南太平洋のアメリカ領土のグアム島に、一戸七千万円

もの高級米軍宿舎何千戸もの建設を、大増税や社会保障の破壊に苦しむ日本国民が負担する破目になっています。「思いやり予算」を含む軍事費を聖域とせず、大幅削減

のメスを入れるたたいは、重大な政治的意義をもちます。(一元)

抵抗の群像



戦争反対と漁業民主化に

生涯をかけた

藤田晃三郎

藤田晃三郎は、一九二一年(明治44)熊野灘に面した三重県桂城村(かつらぎむら)島勝浦(現紀北町海山区)で漁師の長男に生まれた。尋常小学校を卒業して東京で書店や印刷工見習いとして働いていた。

昭和恐慌という未曾有の不況の中、賃下げや解雇反対ストなどを闘って検挙されたが釈放後、名古屋に移り「砲兵工廠」や「愛知時計」で働き無産青年同盟に加入した。

一九二九年四月十六日、「反戦」活動で再び逮捕、保釈後三菱航空機名古屋製作所、市電などでガリ版刷「赤旗」や共産青年同盟機関紙「レーニン青年」や日本労働組合全国協議会(全協)「労働新聞」などの配布や組織拡大で活動した。満州事変・中国侵略戦争反対を

訴えた労働新聞号外(一九三一年/昭和6年9月23日)配布などで一九三二年十二月、治安維持法違反で逮捕され、「特高」から鉛筆による指詰めや膝裏へ木刀を挟む正座、木刀殴打の凶暴な拷問を受けた。

当時の「名古屋新聞」(現「中日新聞」前身)は「名古屋に躍る赤化分子の魔手」藤田ら「大物五名起訴」と大見出しの号外(一九三三年8月21日)を発行した。「特高」の狙いは市民を恐怖に陥れ、共産主義思想や運動の取り締まりで言論集会結社の自由を迫害し、国民の知る権利を弾圧することにあった。

「赤旗」や「レーニン青年」などを「所持し読むことが犯罪」と弾圧された時代、藤田は「階級意識

が高まると共に熾烈な闘争心をかり立てられた」と日誌(一九三六年一月二十六日)で語っている。

三重県では、小作農民と地主の小作料をめぐる闘いは熾烈を極め、「土地を働く農民」のスローガンは水平社運動と連携して農民組合結成をうながし、経済恐慌下で大衆闘争・政治闘争が河合秀夫(労働農民党第一回普選2区立候補)らの援助でいっそう高揚したが、「特高警察」は弾圧体制をさらに強化した。

「3・15事件」で松阪署は共産党員を中心に検挙したが、容疑はいずれも「共産党に加入」あるいは「赤旗」配布などであった。天皇即位にともなう伊勢神宮参詣の「予備検束」で、一九二八年十月二十七日松阪署に逮捕、たらいまわしされて津警察署の「留置場」内で獄死した全国農民組合三重県連常任書記の大澤茂らがいる。

戦後、藤田は一九四五年十月二十五日、党再建のための会合や一九四六年一月には、日本共産党三重地方委員会の結成に参画し、熊野灘沿岸の党員拡大と漁村細胞を

組織した。

一九四九年七月一日、島勝漁業協同組合の設立発起人として参加、専務理事に就任して漁民や組合員の経営とくらしを守って闘った。

新たに制定された漁業法は、漁業調整機構の他に「漁業の民主化を図る」ことが目的(他の法律に類例がない「民主化」)に組み入れられた。

水産業協同組合法の制定問題では党の民主的な政策提言で闘い、また、「漁民の生きる道」(「党活動」叢書2)の発行に寄与した。党傘下地区委員会の再生・組織強化に貢献し、島勝浦四三六世帯中「赤旗」読者比は一七六世帯(一九七五年十二月五日現在)で、40・1%まで高めた。

藤田は、一九六二年十二月、海山町議会議員に当選し住民のくらしを守って四期町議を務めた。

熊野灘漁場を破壊する「原発」立地反対運動では漁業者を結集し、その先頭に立ち、建設を許していない。

一九九九年一月二日没。享年87歳。(山下正行記)

映画

「母べえ」

—— 治安維持法が映像に

新年早々映画ファンはもとより、広く国民の興望をになつて「母べえ」のロード・ショーがはじまります。山田洋次監督、吉永小百合主演と聞いただけでも、わくわくしましたが、試写会を見たかぎり、直接治安維持法の犠牲者となる少壮のドイツ文学者を演ずる坂東三津五郎はじめ、子役をふくめてすべての出演者が脇を固めて好演です。

映画のシナリオ作成にあたって、スタッフが同盟中央本部事務所にこれら、治安維持法そのものの成立の由来の勉強をはじめ、時代考証に万全を期しました。たとえば特高警察が家に乱入逮捕する際、「土足のまま踏み込んだか、靴を脱いで入ったか」「逮捕令状や捜索令状はちゃんと持参して家人に提示したか」など、微細にわたって質問、確認されました。

世界で六〇カ国以上が戦争にまきこまれ、一億人もの兵士が戦火を交えた第二次世界大戦。世界で五千万万人もの尊いいのちが奪われました。日本の天皇制軍国主義、ドイツのヒトラー・ナチズム、

そしてイタリア・ファシズムの三国同盟が枢軸となつておこつた侵略戦争。手足をмоがれた戦傷者や家屋、財産を失つた被災者に加えると、犠牲者はその数倍以上に達します。

日本では、天皇制政府が侵略戦争遂行の地ならしとしたのが治安維持法を軸とする国民弾圧体制。社会と国土の破滅的崩壊と、みずからもくり返し逮捕され、敬愛する夫君もまた十二年間にわたり投獄される痛苦の体験をされた宮本百合子さんは、生前、戦争と暗黒政治を決してくりかえさないために「治安維持法」という題名の小説が描かれるべきだと説かれています。百合子さんは戦後自由を回復してのち、『播州平野』や『道標』などすぐれた作品の中にその主張を部分的に裏付ける努力をされました。

今は視聴覚資料やメディアの時代。その現代のニーズに適合する形で歴史の警鐘として宮本百合子さん指摘の「治安維持法」が「母べえ」の名の映像となつて国民の眼前に姿を現わしたのです。(元)

書棚

『憲法対決の全体像』 不破哲三

新日本出版社 一五〇〇円(税別)

憲法「9条の会」が全国七千に迫る勢いで来年を迎えます。

治安維持法犠牲者をはじめ戦前からの国際的な平和・民主主義の流れの中でつくられた日本国憲法が、今や世界の名誉ある地位を失めつつあるなかで、日米同盟を軸とした「戦争する国づくり」に固執する勢力からの改憲策動も福田内閣のもと再び息を吹き返そうとしています。

本書は第一部「憲法対決の全体像をつかもう」(二〇〇七年)、第二部「世界の流れのなかで憲法問題を考える」(二〇〇四年)、第三部「日本国憲法と社会進歩の立場」(一九九一年)と、歴史をさかのぼりながら現時点での憲法

て大変わりやすい啓蒙書。そして憲法を活かすも殺すも憲法の主権者、歴史の主役としての読者自身の自覚をつくる。まさに憲法学習最適のテキストといえましょう。

第一部では、現在の改憲派はどんな日本をつくらうとしているか、これと対決する「憲法9条を守れ」の声を国民多数派にしていく展望を語っています。

第二部では、日本の憲法問題を世界の流れのなかでとらえ、改憲派の考える日本の国際的孤立へ、そして9条、人権諸条項のもつ国際的先駆性を明らかにしています。第三部では、これらを社会進歩の立場からとらえ、憲法がうたう主権在民、平和と民族自決、国民の生存権などの諸原則が、いかに世界の大勢となりつつあるかをリアルに展開。同盟の運動にとつても必読の文献としておすすめしたいものです。



問題の到達点をとらえ、読者にとつ

(信)

二〇〇八年五月 「9条世界会議」を成功させよう

二〇〇八年五月四日～六日、千葉・幕張メッセ等国内四カ所で開催される「9条世界会議」は、現在賛同団体が九〇を越え、呼びかけ人も七五名となりました。二月二十四日には、広島から千葉まで七十一日間の「9条ピースウォーク」が出発の予定です。

（四会場）

千葉・幕張メッセ（5・6日）

第20回多喜二祭

日時 2月26日（火）

午後6時30分開演

会場 杉並公会堂大ホール

記念講演 「歴史に挑戦した

五年間―『1928年3月

15日』から『党生活者』

『地区の人々』まで」不破

哲三（日本共産党前議長）

ピアノ 村上弦一郎

朗読 俳優鈴木瑞穂

参加費 1200円

主催 杉並中野・渋谷多喜

二祭実行委員会

仙台・サンプラザホール（6日）

大阪・舞州アリーナ（6日）

広島・アステールプラザ（5日）

（準備進行状況はホームページで

<http://www.article-9.org>

「9条世界会議」実行委員会

会場 みらい座いけぶくろ

（旧豊島公会堂）

参加費 1500円

講演 「いま多喜二の文学を讀

む」祖父江昭二（和光大

学名誉教授）

「小林多喜二の文学と私

の青春」朴眞秀（韓国暁

園大学）教授

講談 「小林多喜二の母」宝井

琴桜

主催 日本民主主義文学会・多

喜二百合子研究会

協賛 治安維持法国賠同盟

（寄贈図書）

『不屈 瀬長亀次郎日記』

琉球新報社編 本体一六六七円

『歴史と実践』第28号特集「沖縄

戦と二〇〇七年教科書検定」

沖縄県歴史教育者協議会編

定価一〇〇〇円

『湖北の青春にかけた人びと―北海道初の治安維持法弾圧 集産党事件をめぐって』宮田汎

頒価二〇〇〇円

【訂正とおわび】本誌12月15日号3ページ二段目「溝口政子」は「溝渕政子」の誤りです。

事務局 日誌

12月2日 首都圏大集会E座間婦

人団体連合会第34回総会

国際人権活動日本委員会第11回

総会

12月5日 「不屈」編集会議

3・18合葬追悼会実行委員会参

加

12月8日 日本国際法律家協会第

33回総会・50周年記念レセプション

12月11日 葛飾ピラ弾圧事件東京

高裁判決

12月12日 新アロ特措法を許すな！

緊急集会

12月13日 日本国際法律家協会総

会

多喜二の文学を語る集い

日時 3月15日（土）

午後1時30分開演

<p>非核の政府を求める会 東京都新宿区信濃町三三三 信濃町ビル四〇一 ☎〇三 五三六七 五五一三 F〇三 三三二五 〇九二〇</p>	<p>日本平和委員会 東京都港区芝一四九 平和会館 ☎〇三 三四五一 六三七七 F〇三 二四五一 六二七七</p>	<p>原水爆禁止日本協議会 東京都文京区湯島一四四 8464 平和と労働センター六F ☎〇三 五八四二 六〇三三 F〇三 五八四二 六〇三三</p>	<p>全日本民主医療機関連合会 会長 肥田 泰 東京都文京区湯島一四四 8465 平和と労働センター七F ☎〇三 五八四二 六四五一</p>	<p>全国商工団体連合会 会長 国分 稔 東京都豊島区目白一三六一三 8575 ☎〇三 三九八七 四三九一(代) F〇三 三九八八 〇八二〇</p>	<p>自由法曹団 団長 松井 繁明 東京都文京区小石川二二二八 DICKマンション小石川二〇一 ☎〇三 三八一四 三九七一</p>	<p>二〇〇八年 元旦 日本共産党 国会議員団 東京都千代田区永田町一七一 衆議院内 ☎〇三 三三五一 五八八八</p>	<p>日本共産党 中央委員会 東京都渋谷区千駄ヶ谷四二六七 ☎〇三 二四〇三 六一一一</p>
<p>全国借地借家人組合連合会 会長 河岸 清吉 東京都新宿区新宿 五五 御苑フラット一四〇一 電話〇三(三三五)二〇四四八</p>	<p>日本ベトナム友好協会 0005 東京都豊島区南大塚二一七一〇 ☎〇三 三九四五 八五四三 F〇三 三九四五 九〇七二</p>	<p>日本中国友好協会 会長 尾光 一之 東京都千代田区西神田二四一 東京大学ビル3階 ☎〇三 三三三四 四七〇三 F〇三 三三三四 四七〇三</p>	<p>日本民主青年同盟 中央委員会 0047 東京都渋谷区神山町四 ☎〇三 三四六八 五三〇一 F〇三 三四六八 五三〇六</p>	<p>婦人民主クラブ 新聞 0051 渋谷区千駄ヶ谷二一八 裕豊ビル三〇号 ☎〇三 三四七八 一三二一 F〇三 三四七八 一三二一</p>	<p>日本婦人団体連合会 月刊『婦人通信』 0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷二一九三〇三 TEL〇三 三四〇一 六四七 FAX〇三 五四七四 五八五</p>	<p>新日本婦人の会 会長 高田 公子 0002 東京都文京区小石川五〇一〇二〇 ☎〇三 三三一四 九一四(代)</p>	<p>安保破棄中央実行委員会 東京都千代田区三崎町二一一一三 東洋ビル ☎〇三 三三六四 四七六四</p>
<p>全法務省労働組合 中央執行委員長 岩波 薫 東京都千代田区霞ヶ関一〇一 ☎〇三 三三八〇 〇五八四</p>	<p>日本国家公務員 労働組合連合会 中央執行委員長 福田 昭生 東京都港区西新橋一七一四 三木ビル7階 ☎〇三 三五〇二 六三六三</p>	<p>全国労働組合総連合 議長 坂内 三夫 8465 東京都文京区湯島一四四 全労連会館四F ☎〇三 五八四二 五六一一</p>		<p>レッド・ページ反対 全国連絡センター ☎〇四 五七七三 一九九三</p>	<p>日本国民救援会中央本部 会長 山田 善一郎 8465 東京都文京区湯島一四四 平和と労働センター五F ☎〇三 三五八四 一五八二</p>	<p>日本宗教者平和協議会 理事長 鈴木徹衆 0034 東京都文京区湯島三三七一三 TS第七ビル五〇二 ☎・F〇三 三三三三 〇八四二</p>	<p>全司法労働組合 中央執行委員長 石橋 良一 東京都千代田区隼町四二二 最高裁内</p>
<p>農民運動全国連合会 会長 白石 淳一 0022 東京都豊島区南池袋一四三二 池袋ハイクサイドビル三階 ☎〇三 三五九〇 六九五三 F〇三 三五九〇 六九五三</p>	<p>全日本赤十字労働組合連合会 中央執行委員長 太田千枝子 0014 東京都台東区北上野一八三 三木ビル7階 ☎〇三 五八〇六 二七二八</p>	<p>日本新聞労働組合連合 東京都文京区本郷一七七 0033 ☎〇三 五八四二 一一五〇 F〇三 五八四二 一一五〇</p>	<p>日本医療労働組合連合会 東京都台東区入谷一九五 ☎〇三 三八七五 五八七一</p>	<p>日本自治体労働組合総連合 中央執行委員長 大黒作治 0012 東京都文京区大塚四一〇七 自治労連会館 ☎〇三 五九七八 三三三八</p>	<p>全国税労働組合 東京都千代田区霞ヶ関三一 国税庁内 ☎〇三 三五八一 三六七八 F〇三 三五〇七 〇八八六</p>	<p>全日本教職員組合(全教) 憲法改善を許さず民主教育を守る 中央執行委員長 米浦 正 東京都千代田区一番町二二一 全国教育文化会館3F ☎〇三 五二一一 〇二二三</p>	<p>生協労働連 0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷四一九 南部ビル三階 ☎〇三 三四〇八 〇〇六七</p>
<p>発送代行・一般運送 株式会社 教宣文化社 代表取締役社長 三澤 憲一 東京都練馬区豊玉北二二二 ☎〇三 三九九四 六一〇三</p>	<p>家族旅行から各種大会までの旅行社 勤労者レクリエーション協会 0013 東京都豊島区東池袋一四六一三 ☎〇三 三九八四 〇四〇一(代) F〇三 三九八四 〇四〇七</p>	<p>日本うたごえ全国協議会 0172 新宿区大久保二一六三六 ☎〇三 三三〇〇 〇一〇六</p>	<p>月刊「機関紙と宣伝」 日本機関紙協会 0014 東京都港区芝一四九平和会館七階 ☎〇三 三四五四 八四一(代) F〇三 三四七六 六〇八九</p>	<p>劇団前進座 東京都武蔵野市吉祥寺南町 ☎〇四 二二四九 二六三三</p>	<p>(株)翼プロダクション 代表取締役 山口 逸郎 東京都港区新橋三六一二 大洋ビル ☎〇三 三四三八 〇五六一</p>	<p>最低保障年金制度の実現を 全日本年金者組合 中央執行委員長 篠塚 多助 0005 東京都豊島区南大塚一六〇二〇 ☎〇三 五九七八 二七五一</p>	<p>生協労働連 0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷四一九 南部ビル三階 ☎〇三 三四〇八 〇〇六七</p>

<p>日本美術会 第61回日本アンデパンダン展 3月19日〜3月31日 国立新美術館(六本木) ☎〇三 五八四二 五六六五</p>	<p>畑田重夫 はた だ しげ 夫 ぁ 一橋大学名誉教授</p>	<p>浜林正夫 一橋大学名誉教授</p>	<p>吉岡吉典</p>	<p>角銅立身 弁護士</p>	<p>増本一彦 弁護士</p>	<p>国際人権活動日本委員会 武力によらない平和な世界を! 日本国際法律家協会 新居区四谷一一一伊藤ビル2F B ☎〇三 三三二五 一〇二〇 事務局長 笹本 潤修 会長 新倉 修 事務局長 伊藤 誠 議長 鈴木 亜英 東京都豊島区南大塚二 三三三 一〇 東京労働会館1F ☎〇三 三九四三 二四二〇</p>
<p>いわさきちひろ作品普及会 東京都杉並区阿佐谷南一 四一 ☎〇三 三三二一 八 三五五三</p>	<p>(有)石川印刷社 代表取締役 石川 幸一 東京都千代田区猿樂町二五二 ☎〇三 三三九四 六五七四 F〇三 三三九四 六五七四</p>	<p>平和と労働センター 全労連 会館 朝9時〜夜9時・年中無休 憲法9条擁護運動とともに お茶の水・文京区湯島二 四 四 ☎〇三 五八四二 五六一〇 F〇三 五八四二 五六〇九</p>	<p>信頼と安心の旅 (株)富士国際旅行社 東京都新宿区新宿一 一一 七 ☎〇三 三三三三 七 三三七七(代) F〇三 三三三三 七 三三七七</p>	<p>印刷・ホームページ 自費出版・自分史 (株)きかんし 0053 東京都江東区辰巳 〒135 二 八 二二 ☎〇三 五五三四 一一三四(代) F〇三 五五三四 一一三四(代)</p>	<p>自費出版 民主勢力の本づくり50年。多様な要望に応える高い技術。相談無料。 光陽出版社・(株)光陽メディア ☎〇三 三三六八 七八九九</p>	<p>株式会社 新日本出版社 代表取締役 小 櫻 勲 東京都渋谷区千駄谷四一五六 ☎〇三 三四三三 八四〇一</p>
<p>消費税率引上げ反対 中央経理事務所 税理士 千葉 幸美 東京都台東区三筋二 一 七 ☎〇三 三三六二 〇六一一</p>	<p>澤藤 統一郎 0033 東京都文京区本郷五 二 二 二 ☎〇三 五八〇二 〇八八二 〒F〇三 五八〇二 〇八八二</p>	<p>あさひ岳法律事務所 所長 近藤 伸生 旭川市永山四条三 四 八 ☎〇一六 四九 七〇〇二 F〇一六 四九 七〇〇二</p>	<p>今法律事務所 弁護士 今 重一 弁護士 今 西 憲 弁護士 今 小 憲 弁護士 今 小 憲 旭川市浦見 四 一 四 ☎〇一五 四 一 四 一 七 七 三 二</p>	<p>福元館 小林多喜二逗留の宿 0121 神奈川県厚木市七沢二七五八 ☎〇四六 二四八 〇三三四(五) 〒F〇四六 二四八 六二五八</p>	<p>柳瀬正夢研究会 研究誌「ねじ釘」は、治安維持法に抗して反戦平和の絵筆を振るった柳瀬正夢研究の最新成果を紹介しています。 0044 東京都新宿区喜久井町二一九 ☎〇三 三三〇五 七九五九 〒F〇三 三三三二 八七五二</p>	<p>新日本出版社 代表取締役 小 櫻 勲 東京都渋谷区千駄谷四一五六 ☎〇三 三四三三 八四〇一</p>
<p>一番町法律事務所 仙台市青葉区一番町二 一〇 一四 翠ビル2F ☎〇二二 二六二 一九〇一</p>	<p>いわきの名山湯の岳に 山代吉宗らの伝統刻む 「民主先駆の碑」探勝歓迎 連絡先 ☎〇二四六 四二 三三三三(渡辺)</p>	<p>小村和恵法律事務所 埼玉弁護士会所属 所沢市北秋津七二五 一 四 ☎〇四二 九九八 五二二〇 F〇四二 九九八 五二二〇</p>	<p>植田 裕 法律事務所 弁護士 植田 裕 山形市旅籠町一 一 二 五 三 金子ビル3F ☎〇三 六三二 八二六七 F〇三 六三二 八二六七</p>	<p>弁護士 加藤 實 山形市旅籠町一 一 四 二 〇 加藤 實法律事務所 ☎〇三 六四二 九三二五 F〇三 六四二 九三二五</p>	<p>外塚功法律事務所 弁護士 外塚 功 山形市七日町一 四 二 四 6 F ☎〇三 六三四 一五二五 F〇三 六三四 一五二五</p>	<p>佐藤秀夫法律事務所 宇都宮市西一 三 五 齊藤ビル3階 ☎〇二八 六三五 〇四一三 F〇二八 六三五 七九五五</p>

<p>長野山宣会 会長 荒井俊信 上田市中央三 八七</p>	<p>大久保賢一法律事務所 〒359 0044 弁護士 大久保賢一 近藤伸賢 明一 所沢市松葉町一 九七 F0044 二九九八八 二二八六六 F0044 二九九八八 二二八六六</p>	<p>あかしあ法律事務所 弁護士 平山知子 新宿区新宿一 一四 五 新宿KMビル六〇二 F003 五三六九 〇七九〇</p>	<p>都民中央法律事務所 新宿区住吉町一 一一一 新宿曙ビル4F F003 三三五五 三三四一</p>	<p>(株)東部合同会計事務所 葛飾区柴又一 一一一 一三 F003 三三八六 〇五一三 F003 三三八六 〇五一三</p>	<p>増本法律事務所 藤沢市藤沢五七一 七 フジビル四階 F004 四六六 二二二 一七二二</p>	<p>吉村駿一法律事務所 前橋市本町一 一七 一五 F002 二二四 八三三七 F002 二二四 八四七八</p>	<p>名古屋法律事務所 名古屋市中区丸の内一 〇六 側島ノリタケビル二階 F005 一四五一 七七四六 F005 一四五一 七七四九</p>
<p>東海法律事務所 弁護士 大矢和徳 名古屋市中区丸の内三 五三三五 F005 一九六一 〇六五一</p>	<p>位田会計事務所 税理士 位田幹生 四日市市笹川一 五一 一五 F005 九三三二 六四二一</p>	<p>彦根共同法律事務所 弁護士 木村靖 弁護士 元永佐緒里 弁護士 坂梨勝彦 弁護士 高橋陽一 彦根市旭町六 二二一 田中ビル 2F F007 四九二 二二二 一五二五 (代表)</p>	<p>滋賀第一法律事務所 弁護士 野村裕 弁護士 玉川昌美 弁護士 近藤公人 弁護士 永藤明 弁護士 杉本周平 弁護士 木下康代 大津市京町三 四 一一二 アーバン21 5F F007 七五二 二二一 八四八三</p>	<p>京都法律事務所 京都市中京区御幸町通り 丸大町下ル 御幸町ビル五階 F007 五二一 一八八一 F007 五二一 一八八一</p>	<p>京都第一法律事務所 京都市中京区烏丸通二条上ル時給屋町 マニエライフプレイス京都ビル4F F007 五二一 一四四一 F007 五二一 一五〇七</p>	<p>京都第一法律事務所 京都市中京区烏丸通二条上ル時給屋町 マニエライフプレイス京都ビル4F F007 五二一 一四四一 F007 五二一 一五〇七</p>	<p>京都第一法律事務所 京都市中京区烏丸通二条上ル時給屋町 マニエライフプレイス京都ビル4F F007 五二一 一四四一 F007 五二一 一五〇七</p>
<p>かつらぎ法律事務所 大和高田市大中九八 小川ビル F007 四四五 二二二 七七〇〇</p>	<p>関西共同印刷労働組合 執行委員長 石橋寛之 大阪府北区大淀中三 五五 F006 六四二二 一一八七</p>	<p>株式会社 清風堂書店 大阪府北区曾根崎一 一一一 一六 地下鉄東梅田駅6番出口前 F006 六二二二 三〇八〇</p>	<p>堺総合法律事務所 弁護士 岡崎正延 堺市堺区一条通二〇 五 銀泉ビル六階 F007 二二二 一〇一六</p>	<p>きづがわ共同法律事務所 大阪府浪速区戒本町一 九一 一九 酒井家ビル一五号館五階 F006 六六三三 七六一二(代)</p>	<p>北大阪総合法律事務所 大阪府北区西天満三 一四 一六 西天満パークビル三三三号館十階 F006 六三六五 一一三二</p>	<p>大阪中央法律事務所 大代表 小林つとむ 大阪府中央区石町一 一七 F006 六九四二 七七八五 F006 六九四二 七七八五</p>	<p>神戸共同経理事務所 神戸市中央区下山手通五 七一 一五 グローリー山手 F007 八二二 六〇五三</p>
<p>きのくに法律事務所 弁護士 野間友一 弁護士 小野原聡史 弁護士 岡田政和 和歌山市七番丁一番地の一 アラスカビル六階 F007 三三三 三三四〇 F007 三三三 三三四〇</p>	<p>播磨共同経理事務所 加古郡播磨町野添一六五六 一 八木ビル二〇(JR土山駅3分) F007 八九四 一八八三七</p>	<p>姫路総合法律事務所 弁護士 竹嶋健治 吉田正次郎 前田竜一郎 平田元秀 土居由佳 姫路市大黒堂丁町五〇 F007 七九二 二二二 〇六八四</p>	<p>安田法律事務所 弁護士 安田寿朗 鳥取県米子市東町二九六 F008 八五九 三三三 一〇一九</p>	<p>広島共同法律事務所 広島府中区上八丁堀八番七号 長束ビル四階 F008 二二二 七七八八</p>	<p>恵木法律事務所 広島府中区上幟町三 二五 F008 二二二 七六三二</p>	<p>福岡第一法律事務所 福岡府中央区大名二 一〇 二九 福岡ようきビル二階 F009 二二二 一一二一 F009 二二二 一一二一</p>	<p>黒崎合同法律事務所 北九州市八幡西区黒崎三 一七 日本生命黒崎ビル四階 F009 三三三 二八六八</p>
<p>呉合同法律事務所 弁護士 高盛政博 呉市中央五 一三 二〇一 F008 三三三 二二二 〇二五七</p>	<p>岡山合同法律事務所 弁護士 嘉松喜佐夫 弁護士 石田正也 弁護士 則武透 弁護士 上田序子 岡山市南方二 八 二二五 F008 六二二 二二二 八七七七 F008 六二二 二二二 八七七七</p>	<p>山口第一法律事務所 弁護士 内山新吾 弁護士 田中礼司 山口市中央四 二二 四 F008 三三三 二二二 七六〇〇(代)</p>	<p>雑芸社・猿まわし 周南市江の宮町九 一一二 F008 三三三 二二二 四三三四 携帯090 一七二八 七四二九</p>	<p>(株)富士リスト 大阪支店 大阪府北区天神橋三 八 九 新末広ビル五〇一 F006 六八八二 三三〇一 F006 六八八二 三三〇一</p>	<p>福岡第一法律事務所 福岡府中央区大名二 一〇 二九 福岡ようきビル二階 F009 二二二 一一二一 F009 二二二 一一二一</p>	<p>黒崎合同法律事務所 北九州市八幡西区黒崎三 一七 日本生命黒崎ビル四階 F009 三三三 二八六八</p>	<p>黒崎合同法律事務所 北九州市八幡西区黒崎三 一七 日本生命黒崎ビル四階 F009 三三三 二八六八</p>

激動の昭和。愛を忘れずに生きた、母と家族の感動の物語

母べえ

監督 山田洋次 主演 吉永小百合

浅野忠信 檀れい 志田未来 佐藤未来
笑福亭鶴瓶 中村梅之助 坂東三津五郎

プロデューサー:深澤宏 矢島孝 原作:野上照代 脚本:山田洋次、平松恵美子
撮影:長沼六男 美術:出川三男 音楽:富田勲 ヲパノ:佐藤しのぶ 照明:中須岳士
編集:石井巖 録音:岸田和美 製作:「母べえ」製作委員会
制作・配給:松竹株式会社

www.kaabee.jp



新春1月26日(土)全国ロードショー!

不屈の抵抗と青春を語り継ぐ

桑原英武 『治安維持法とわたし』

戦前編

1912(大正元)年生まれ of 著者は、若くして職業革命家をめざし、旧制三高(現京都大学)に進学したが、学業半ばで左翼労働運動に身を投じ、昭和5年と8年に治安維持法違反で2回検挙。懲役2年と3年の判決で大阪刑務所に5年収監。出獄後、前歴を隠して医師資格を取得し、戦後は民主医療機関の創設をはじめ多方面で活躍した「小説より奇なる」破天荒な人生を語る。



日本機関紙出版

四六判 定価1500円

〒553-0006大阪市福島区吉野3-2-35 TEL06(6465)1201 FAX06(6465)1255



『治安維持法と現代』

2007年秋季号
好評発売中

【主な内容】「参院選後の情勢と今後の展望」、「日本会議『靖国派』のルーツは特高官僚・戦犯政治家・右翼思想家」、「自衛隊の国民監視を許すな」、「南京大虐殺70周年に思う」、「岩田義道の不屈の生涯に学ぶ」、「少年の私が見た横浜事件」、「世界に誇るべき革命家宮本顕治」、「宮本顕治の不屈の公判闘争に学ぶ」、「大企業の思想差別・反共労務政策とレッドページ」、「気骨の作家・社会運動家中西伊之助」、詩など、学習材料が満載。

A5版、定価1000円、送料210円、各都道府県本部でお求めを。

治安維持法と現代を結ぶ総合雑誌

企画・編集

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟